



季刊

弥生の出雲王に出会える

出雲弥生の森博物館だより

IZUMO YAYOINOMORI MUSEUM

第25号 (2017年4月)



館長退任あいさつ



渡邊 貞幸

出雲弥生の森博物館ができる
ちようど十年前、「全国ふるさと
市町村圏シンポジウム2000 in
出雲」というイベントがありまし
た。考古学者の佐原真さんが基調
講演をされ、私もパネラーの一人
として参加しました。

討論で、新しく博物館をつくる
としたらどんなものが望ましいか
と聞かれた私は、「館長が館長室
に籠もっているような博物館では
駄目だ」、「館長の学問的見識が活
かされるようなものでなければな
らない」等の発言をしました。

そのときは、自分が館長になる
日が来るとは思っていませんで
した。その後、弥生の森博物館が
できて館長になるよう要請された
とき、私はこのシンポジウムを思
い出し、微力であってもこの信念
を貫こうと心に決めました。

開館以来七年、多くの方々の支
援を受けて当館は着実な歩みを続
けています。私は電鉄大津町駅か
ら歩いて通勤していましたが、道

で老幼男女の市民から声を掛けて
いただき、当館が地域に支えられ
ていることを実感していました。

私は人生のほぼ半分を西谷墳墓
群(弥生の森)と関わって過ごしま
した。顧みれば本当に恵まれた考
古学人生でした。応援してくだ
さった皆様に心からお礼申しあげ
ます。そして新館長のもとで、当
館の活動がさらに豊かになります
よう祈っております。

館長就任あいさつ



花谷 浩

4月から館長を引き継ぎまし
た。

わたしは、大学で考古学を学ん
だのち奈良で発掘の仕事に就きま
した。おもに飛鳥奈良時代の遺跡
の調査研究です。『日本書紀』や
『続日本紀』といった歴史書はあ
りますが、その情報は限られてい
ます。宮殿や寺の建物のデザイン
は？大きさは？それは、その遺跡
を掘ってみないとわかりません。

大工仕事に不可欠な釘や金具、
室内に置く調度類はどこで作られ

ていたか。意外なことに、飛鳥の
ど真ん中にその工場跡が眠ってい
ました(飛鳥池遺跡)。ここでは、
金銀やガラス細工もおこなわれ、
富本銭ふほんせんという和同開珎わどうかいちん(708年
発行)より古い銭も作られていま
した。歴史書には銭発行の記事は
あつたものの、実物については諸
説紛々でしたから、皆が驚きまし
た。

歴史記録があるから考古資料が
理解できる、逆に、考古資料に
よって歴史記録が鮮明に浮かび上
がる。これが遺跡を調査し、歴史
を調べる楽しさです。それが十分
可能なのが、ここ出雲の特長でも
あります。

1974年春、はじめて発掘に
参加したのが、安来の宮山IV号墓
という四隅突出型墳丘墓(四隅)
でした。土の中から次々と顔を出
す「四隅」の石列を夢中で掘って
いました。

あのわくわく感を、次はこの博
物館で市民の皆さんと味わえた
ら、そう強く願っています。



出雲弥生の森まつり2017

4月29日は当館の開館記念日です。開館記念日を初日に、今年も「出雲弥生の森まつり」を地元「弥生の森おおつ」などと協力して開催します。

4月29日(土・祝)

★オープニング

9時30分～

大津小学校児童と樋野達夫さん(笛作家)による古代体験学習発表・土笛演奏など

★館長のおはなし

10時～



有料 喫茶コーナー

11時～15時



無料 よすみちゃんクイズ

13時～15時

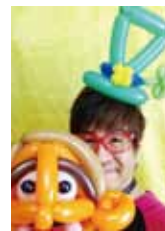
クイズに正解すると素敵なプレゼントがあるよ!



4月30日(日)

無料 バルーンアートショー

13時～14時



有料 みんなで作ろう!

よすみちゃん和菓子づくり
定員30名
14時30分～



無料 西谷墳墓群ガイドサービス

9時～12時
13時～16時

無料 博物館探検隊

10時～11時

普段は見ることができない博物館の裏側を探検しよう!

無料 火起こし体験

10時～15時

有料 まが玉づくり体験

10時～15時



同時開催 史跡公園イベント

4月29日(土・祝)・30日(日)

地元にぎわいコーナー

有料 屋台村

10時～15時

- ・唐揚げ・焼そば
- ・ジュース・ラーメンなど

無料 クイズに答えて、わたがしをもらおう!

10時～15時

無料 野外遊びコーナー

10時～15時

- ・まてばしい飛ばしに挑戦!!
- ・フリーブロー(吹き矢)など

5月3日(水・祝)

無料 弥生の森特製大鍋

(限定100食)
12時～



ものづくり体験が大集合!

古代体験フェスティバル

13時～16時

復元した弥生土器で
ご飯を炊こう!

みよし風土記の丘・

広島県立歴史民俗資料館



有料 おゆまるで作ろう!

まが玉ストラップ
八雲立つ風土記の丘

有料 和同開珎づくり

古代出雲歴史博物館



有料 オリジナル

フラ板づくり
荒神谷博物館



有料 まが玉消しゴムづくり

出雲弥生の森博物館

5月4日(木・祝)～7日(日)

無料 キャラ探しスーパ

博物館に隠れているキャラクターを探し出そう!全部見つけると素敵なプレゼントがあるよ!



※イベント内容や開催時間は変更になる場合があります。

詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

ご覧ください。



★ギャラリー展

「山陰最古の弥生遺跡

—原山遺跡は何を語るか—

3月22日(水)～6月19日(月)

【無料】

原山遺跡は、出雲市大社町修理免にあり、原山と呼ばれる砂丘上にある遺跡です。今から69年前の1948年に明治大学の杉原荘介氏らによって最初の発掘調査がおこなわれ、山陰最古の弥生土器が出土しました。その成果はすぐに全国に紹介されます。その後、大社考古学会などによる発掘調査や遺物採集によって、遺跡の姿が徐々に知られるようになりました。

原山遺跡から発見された遺物で注目されるのは、「出雲原山式」と呼ばれる出雲で作られた弥生時代前期の土器です。これらは山陰最古の弥生土器で、九州北部のものに形や文様がよく似ています。土器には稲籾の圧痕が確認できるので、出雲で米づくりがおこなわれていたことが推察できます。これらの山陰最古の弥生土器は、米づくりの文化が山陰に伝わったプロセスを示す貴重な資料です。



山陰最古の弥生土器（原山遺跡）

また、原山遺跡では他地域との交流を示す、剣の形をした磨製石剣や、粘土帯土器（口の外周に粘土の紐を貼り付けた甕形土器）も出土しています（弥生時代前期末から中期頃か）。両者の材質や形などの特徴から朝鮮半島のものであると考えられます。これらが原山遺跡に持ち込まれたのです。



原山遺跡の磨製石剣（長さ約17cm）

このように原山遺跡は、山陰最古の弥生遺跡というだけでなく、日本海沿岸における弥生文化の展開や交流を考えるうえで欠かすことのできない重要な遺跡なのです。

今回、島根大学法文学部考古学研究室と出雲弥生の森博物館が、共同で原山遺跡出土品について再検討をおこないました。その成果をギャラリー展で皆様にお伝えしたいと思います。

「出雲」が誇る山陰最古の弥生遺跡をぜひご覧ください。

（島根大学考古学研究室 4 回生 若山俊介）

● 関連講演会

若山俊介

【無料】

4月22日(土) 14時～16時

「東北アジアの磨製石剣」

【講師】平郡達哉氏

（島根大学法文学部准教授）

※事前申込み必要

● ギャラリートーク

【無料】

4月22日(土)・5月13日(土)・

6月10日(土) 13時～

【講師】島根大学

考古学研究室学生

※申込み不要

★埋蔵文化財発掘調査報告書

出雲市では、平成28年度に、次の埋蔵文化財発掘調査報告書を発刊しました。これらの報告書は市内の各図書館で5月から閲覧ができます。ぜひご利用ください。

○ 『上塩冶横穴墓群 第40支群

県道出雲三刀屋線上塩冶工区道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1』（古墳時代後期の横穴墓36基の調査成果報告）

○ 『出雲国古代山陰道発掘調査報告書 出雲市 三井Ⅱ・杉沢・長原遺跡の調査』（古代山陰道の調査成果報告）

○ 『祇園原Ⅲ遺跡 県道斐川上島線（武部2工区）改良事業予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書』（8世紀前半の炭焼き跡など古代の鉄鉢形須恵器出土の調査成果報告）

○ 『平成28年度出雲市文化財調査報告書 出雲大社境内遺跡』（寛文度および延享度の遷宮を中心とした遺構の調査成果報告）

★発掘調査の現場から⑬

「見えてきた縄文時代の出雲」
—京田遺跡の発掘調査—

市文化財課では、平成28年度に山陰自動車道の建設に関連して、出雲市湖陵町常楽寺に所在する京田遺跡の発掘調査を実施しました。調査では縄文時代後期（約4400～3200年前）の土器や石器などが多数出土したほか、配石土坑や竪穴建物などの遺構が確認できました。

出雲平野やその周辺では、これまでに弥生時代や古墳時代の遺跡が、数多く発見されています。しかし、それより前の縄文時代の遺跡については調査事例が少なく、あまり知られていません。そのため今回の京田遺跡の調査成果は、この地域における縄文時代の人々の生活を紐解く手掛かりとして重要です。ここではその成果の一部をご紹介します。

京田遺跡は神西湖から南に約2.5kmのところであり、常楽寺川と丘陵裾の間に位置しています。調査対象面積は約250㎡ですが、出土した縄文土器や石器はコンテナ50箱以上もあり、出雲平野周辺の他の遺跡と比較すると、かなり多

いといえます。そして、その多くが後期の中頃に限定され、遺跡の周辺で人々の活動が盛んな時期は、比較的短い期間であったことが分かります。

調査区中央からは、内部に土器を含んだ土坑や、その上に人の頭石土坑を確認しました。また、近くから竪穴建物と思われる遺構の一部が見つかり、調査区周辺に縄文時代後期中頃の集落が広がっていた可能性が考えられます。

今後は出土した遺物を検討して「縄文時代の出雲」に生きた人々の様子をさらに明らかにしていきます。
(幡中光輔)



土器を含んだ土坑(左)と配石土坑(右)

★ミュージアムショップ情報

▽「四隅突出型クッション」

「よすみ」の形をしたオリジナルクッションを新発売します。色はブラックとピンクの2色です。

〈各1,620円(税込)〉



▽「弥生のますて」

弥生時代をモチーフにした、かわいいマスクینگテープを入荷しました。「よすみ」もデザインされています！

ほかにも古墳時代、埴輪など全5種です。
〈各450円(税込)〉



★博物館アテナントコーナー
「鳴らしてみよう」

博物館アテナントです。1階古代楽器体験コーナーの紹介です。琴板は棒を使って叩く太鼓です。琴には弦が張られ指で弾いて鳴らします。

土笛は胴部分の穴を6本の指で押さえて、上の穴から息を吹き込むと「ポー」とオカリナのような音が出ます。

銅鐸は中にある「舌」を揺らして鳴らすベルです。重厚な響きに趣きがありますよ。

弥生人もいろんな楽器で、音楽に親しんでいたようですね。

(発行) 出雲弥生の森博物館 2017年4月

〒693-0011 島根県出雲市大津町2760
(TEL)0853-25-1841 (FAX)0853-21-6617
(E-mail) yayoi@city.izumo.shimane.jp
http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori

- 入館料 / 無料
- 開館時間 / 9:00～17:00
(入館は16:30まで)
- 休館日 / 火曜日(祝日の場合は翌平日)
年末年始

